

第6回

東北大学 Networking Evening

東北大学ではオープンイノベーション戦略機構の発足を契機に、創発のための企業と大学の交流の場として、「東北大学 Networking Evening」を開催して参ります。東北大学からのプレゼンテーションの後に、フリーディスカッションの時間を設け、業界・専門分野を越えて、気軽に自由闊達に語り合える会を目指しております。多くの企業の方にご参加いただき、この機会をご活用いただければ幸いです。

日時

2019年9月26日(木)
16:30-17:20 (受付開始16:15)

題材

胆嚢炎治療を変える新しい超音波内視鏡用デバイス

会場

日本橋ライフサイエンスビル9階 913会議室
東京都中央区日本橋本町二丁目3番11号

事前
登録制

メールタイトルを「**9月26日Networking Evening申込**」とし、
①氏名、②所属、③役職、④連絡先(電話など)をご記入の上
「oi-event@grp.tohoku.ac.jp」宛にメールにてお申込みください。
※参加費は無料です。

受付

お申込み多数の場合、会場収容人数との関係でご参加いただけない場合がございます。あらかじめご了承ください。当日、受付にて御名刺2枚をお預かりさせていただきます。

主催 : **東北大学オープンイノベーション戦略機構**
<https://oi.tohoku.ac.jp/>



胆嚢炎治療を変える新しい超音波内視鏡用デバイス

東北大学 大学院工学研究科 電子工学専攻
准教授 宮本浩一郎

胆嚢炎は国内で年間10万人が罹患する一般的な消化器疾患です。現在の標準治療としては外科的な胆嚢摘出が第一の選択肢です。一方で、症例の約4割は様々な理由で手術の適用にならないことが知られています。

そのような場合、次善の処置として経皮的な胆嚢ドレナージ（皮膚から肝臓を貫通して胆嚢にドレナージチューブを刺し、胆嚢から排膿する治療）が選択されてきました。しかしこの処置は、病院・医師にとってはトラブルが多く、患者には強い痛みや長期入院を強いるため、消極的に、やむを得ず選択されており、臨床現場では新しい治療の実現が希求されています。

我々が開発した新規デバイスは、超音波内視鏡による内視鏡的胆嚢ドレナージを簡便に行えるように補助する小さな処置具です。我々はこのデバイスを通じて経皮的な処置に替わる新しい治療の選択肢を提供し、胆嚢炎の治療を変えることを目指しています。

（共同開発者：仙台厚生病院消化器内科 部長 奥園徹）

アクセス

- 東京メトロ銀座線・半蔵門線「三越前」駅 A6 出口より徒歩 3 分
- JR 総武快速線「新日本橋」駅 5 番出口より徒歩 2 分
- JR 山手線・京浜東北線・中央快速線「神田」駅南口より徒歩 11 分
- JR 山手線・京浜東北線・中央快速線「東京」駅日本橋口より徒歩 13 分

お問い合わせ先

- 東北大学オープンイノベーション戦略機構
- 担当： 谷津、谷口、大島、田谷
- Email : oi-event@grp.tohoku.ac.jp



主催：東北大学オープンイノベーション戦略機構

<https://oi.tohoku.ac.jp/>